



中尾 利香
(自民公明クラブ)

自助共助による 防災備蓄の推進を図る考えは

必要性を繰り返し周知していく

問 防災備蓄の考え方について、家庭や地域で自助、共助による備蓄の推進を図っていくべきと考えるが、市の見解は。

答 市の備蓄方針や家庭等における備蓄に関する情報をホームページで公表し、広報や防災ハザードマップへの掲載により周知しています。また、今年度は防災マップを更新し、每户配布を行う予定であることから、こうした機会を捉え、備蓄の必要性を繰り返し周知していきます。

問 今後、市として障害者向けグループホームをどのように計画していくのか。

答 次期障害福祉計画の策定過程でアンケートを実施し、福祉サービスの利用実態などを分析、把握し、グループホームの利用見込量に反映させたいと考えています。

問 以前質問したスケートボードパークの設置について、調査するとのことであったが、どのような検討がされたのか。

答 スケートボードパークを設置している4自治体関係者に調査した結果、マナー違反、近隣住民からの苦情等があったとの回答がありました。それらの課題解決のため、今年度は安全な乗り方やマナー向上のための教室を開催し、併せて近隣住民への影響等を騒音計で調査する予定です。

問 地域交流センター「とわふる」の利用者のために旧みちのく銀行駐車場を整備し、解放できないか。

答 中心市街地への回遊やにぎわいを創出することを目的とした施設のため、現在のところ想定していません。



氣田 量子
(自民公明クラブ)

「書かない窓口」導入への取組状況は

令和7年度の導入を目指す

問 申請書に記入せずに証明書発行等の手続きができる「書かない窓口」の導入は来庁者の利便性向上だけでなく、職員の負担軽減にもなると考え以前にも質問していたが、取組状況は。

答 市DX推進ビジョンで令和7年度の導入を目指すこととしており、今年度から受付体制や経費等の課題を整理するとともに、他自治体の事例や導入するシステム等について具体的な調査、検討に着手していきたいと考えています。

問 带状疱疹は高齢者が発症するリスクが高く、带状疱疹後神経痛を防ぐためにもワクチン接種での予防が大切である。市民から接種費用が高額なので助成して欲しいとの声があるが市の見解は。

答 現在国で定期接種化を検討しており、ワクチンに期待される効果や実施年齢に関して検討を要するとされている状況を踏まえ、助成することは、現時点では難しいものと考えています。

問 令和4年度から始まったHPVワクチンのキャッチアップ接種の接種状況は。

答 令和3年度までに3回接種を完了していない1,607名のうち、令和4年度中に1回以上接種した方は198名（12.3%）です。

問 定期接種の接種状況は。

答 令和3年度までに3回接種を完了していない1,173名のうち、令和4年度中に1回以上接種した方は156名（13.3%）です。

問 上記の接種状況は大変少ない数字であると感じるが、通知とは別に、はがきにQRコード等をつけて個別に知らせては。

答 効果的であるかどうかを検討し、必要に応じて活用したいと考えています。